

2020 たより

vol.
04

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 ニュースレター

▶ 巻頭特集②

「都市鉱山からつくる！
みんなのメダルプロジェクト」を進める仲間たち

▶ 行って見た! やってみた!

「馬術」をやってみた!

▶ なるほど組織委員会

大会運営を“縁の下で支える”メンバーを紹介します!

▶ パラリンピックを満員にしたいんだ委員会

× ファインダー越しに見たスポーツの祭典 コラボ企画

巻末フォト 車いす陸上アスリート 樋口政幸

巻頭特集①

Welcome to TOKYO 2020!

世界の注目は
すでに東京へ





Welcome to TOKYO 2020!

巻頭特集① 世界の注目はすでに東京へ

2020年の開催に向け、すでに海外から多くの関係者が来日。各国のニーズに応えながら、大会準備が着々と進められています。今回は、海外からの現地視察「NOC/NPCビジット」についてご紹介します！



世界の人々と信頼のネットワークを築く！

NOC/NPC ビジット Q&A



私たちがお答えします！
NOC/NPC部
出口さん・齋さん・谷口さん

Q1

NOC/NPCって何？

A NOCはNational Olympic Committee (国内オリンピック委員会)、NPCはNational Paralympic Committee(国内パラリンピック委員会)の略。現在206のNOC、178のNPCが世界中の国・地域に置かれています。NOC/NPCは、選手をオリンピックやパラリンピックに参加させるために、次回大会の情報収集や、選手目線での要望を組織委員会に伝えるなど、とても大切な役割を担っています。

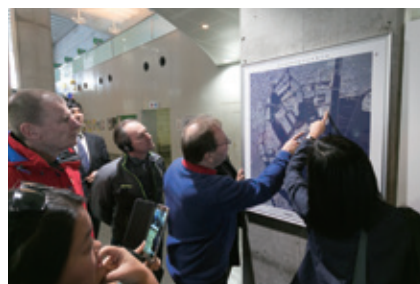


13の国・地域のNOCと組織委員会職員

Q2

ビジットって何をするの？

A “ビジット”とは、NOC/NPCが独自に進める大会開催地訪問のこと。東京では、2016年11月からビジットの受入れを開始し、すでに約20のNOC/NPCが来日しています。NOC/NPCは選手が活躍できるよう、ビジットで様々なチェックを行います。競技会場や選手村の視察、大会サービスの確認、組織委員会とのミーティング、事前キャンプ地探しなど、ビジットにおける各国の希望は多岐にわたります。



選手村と会場の位置関係を確認するNOC

Q3

組織委員会の役割は？

A 組織委員会は、限られた来日期間の中で、NOC/NPCが効率的に情報を収集できるよう、ビジットに関わる多くの調整を行っています。リオ2016大会では、約200回ものビジットが行われました。ビジットは、NOC/NPCと組織委員会の信頼関係を築くよい機会。この機会を通し、大会計画やニーズを互いに理解し交流を深めることは、円滑な大会運営の実現のために大きな意味をもっています。



組織委員会では円滑な案内のため、入念に準備を行います

2017年
2月5日～2月7日 実施

13の国・地域が参加した ビジット(第1回NOCオープンデイズ)に同行してみました!

まずは座学から スタート!

組織委員会から大会の概要や計画についての説明を実施。NOCの皆さんは、選手村から各会場への距離や、競技スケジュール、練習会場など、アスリートの視点に立ち、選手が置かれる環境について熱心に質問していました。



真剣な表情で
説明に耳を
傾けています!



1
日目

3日間のスケジュール

1日目 大会概要計画・説明

2日目 会場視察
新国立競技場・選手村
建設予定地をはじめ、
都内24ヵ所の会場

3日目 会場視察
伊豆ペドロローム
江の島ヨットハーバー

2
日目

計24ヵ所の 会場を視察!

2日目は皆でバスに乗って現地視察。現在建設中の場所や既存施設など様々な場所を巡りました。特に東京1964大会でも使用された施設の状態の良さに、NOCの皆さんからは驚きの声があがっていました。



大会時を
イメージしながら
確認をします



3
日目

伊豆・江の島を視察!

3日目は伊豆・江の島へ。とても天気が良かったこの日は、富士山もきれいに見えていました。会場では競技エリアだけでなく、競技に必要な

道具の保管場所などもまなくチェック。計画的なビジットを通し、大会準備に対する安心感や期待をもってもらえたようです。



2017年3月14日～3月15日に個別訪問した NPCオーストラリアの皆さんに、ビジットの感想を聞きました!

今回のビジットの目的は、日本の国民性や文化、東京2020大会の会場や環境、組織委員会担当者とお互いを知ること、事前キャンプ地探しでした。今回の訪問で東京2020大会が素晴らしいものになると確信! 日本人が効率的であ

ることを改めて感じ、スムーズな大会運営に期待しています。また、選手にとって大会の盛り上がりは非常に重要。リオ2016パラリンピックでは、スタジアムが満員になることも多かったので、東京2020大会でもそうあってほしいです。



表紙の写真

1 NPC オーストラリアとミーティングを行った組織委員会職員。ミーティングでは積極的な意見交換がなされた。
2017年3月



2 第1回NOCオープンデイズ2日目の様子。選手村予定地を視察し、大会時イメージを確認していた。
2017年2月
3 第1回NOCオープンデイズ1日目の様子。組織委員会職員からNOCに対して、最新の東京2020大会の準備状況を説明した。
2017年2月



都市鉱山からつくる! 巻頭特集②

みんなのメダル

プロジェクトを進める仲間たち

都市鉱山とは?

金と銀のうち自然界に残っているものは3割にすぎず、本プロジェクトが対象とする小型家電等をはじめ、実に7割が使用されていると言われています。小型家電等の金銀に限らず、社会に眠る有用な金属類を総称して「都市鉱山」と呼びます。持続可能な社会の構築のために、この都市鉱山を活用することが、いま世界的に注目されています。



写真提供: NTTドコモ



写真提供: 日本環境衛生センター

みんなのメダルプロジェクトとは?

携帯電話などの小型家電を集めて金属を抽出し、このリサイクル由来の金属を活用して東京2020大会の金・銀・銅メダルをつくるプロジェクト。携帯電話業界、リサイクル業界、地方公共団体、国の行政機関、組織委員会が協力してこのプロジェクトに取組むことで、日本国内に眠る都市鉱山など有用資源のリサイクルが推進され、東京2020大会のレガシーとなることを目指します。

都市鉱山の活用を大会後のレガシーに!



携帯電話業界

このプロジェクトには2つの世界初があります!
①国民の皆様がメダルづくりに参画できる
②新たな資源を使わずに金メダルをつくる(リサイクル率100%)
この素晴らしいプロジェクトに1人でも多くの方が参加できるよう頑張ります!
NTTドコモ 日向さん

組織委員会

東京2020大会で活躍する選手に、多くの皆さんの想いがこもったメダルを届けたい! たくさんの人を巻き込んで、「みんなの」メダルを製作したいと思います。
東京2020組織委員会 河崎さん (写真中央)

リサイクル業界

皆様からの小型家電を、想いのバトンとして大切に受け取ります。皆様の想いでつくるメダルが、東京2020大会を輝かせ、未来の子供たちへの循環型社会のレガシーとなるため、全国の自治体およびリサイクル事業者等と協力して、このプロジェクトに全力で取組んでいきます。
日本環境衛生センター 牧野さん

地方自治体

多くの人に、「自分もオリンピック・パラリンピックに協力したんだ」と思ってもらえるように、また開催都市・東京都として、都市鉱山からのリサイクルが、大会後にレガシーとして定着していくように、道筋をつけていきたいです。
東京都 千葉さん

このメダルで東京や日本を世界にアピール!



国の行政機関

このプロジェクトは小型家電をリサイクルする制度の普及や、認知度、回収率の向上につながる、大変有意義な取組みだと考えています。日本全国のすべての国民の参加を得て、小型家電がメダルとなり、大会後も循環型社会として定着する「レガシー」となるよう、環境省としても全力で協力していきます!
環境省 稲田さん

サーフィン 大村奈央 選手

自分も皆様と同様、国民のひとりとしてこのプロジェクトに協力し、多くの方々の手によってメダルがつけられる。この「みんなで作る」というところが、凄く面白いと思います。また、メダルを獲得できたら、自分の携帯電話や小型家電が自分のところに戻ってきたという不思議な感覚になると思います。このメダルをぜひ獲りたい。



写真提供: 一般社団法人日本サーフィン連盟

視覚障害者柔道 土屋美奈子 選手



写真提供: NPO法人 日本視覚障害者柔道連盟

非常に大きな、難しい取組みなのだと思います。しかし、できないと決め込むのではなく、やってみようというのが私は好きです。このメダルを獲りたい。アスリートがメダルを獲得する姿を見て、ご協力いただいた皆様も「自分もメダル製作に協力したんだ」と感じていただけたらと思います。

2017年4月1日より、いよいよスタート! まずは、皆様のご家庭に眠る小型家電から!

競技会場予定地の今をお伝えする行って見た!と大会競技を体験してみるやってみた!

東京2020職員が

行って見た! やって見た!

[今回やってみた!人]

第4回は **馬術** をやってみた!

がんちゃん

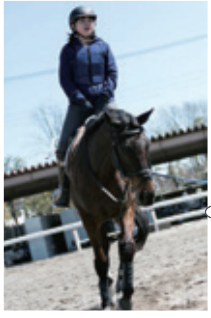
いどちゃん



今回は、**JRA東京競馬場乗馬センター**にお邪魔しました!

馬術に挑戦!ところが……

経験者でも走り続けるのは困難



乗馬クラブに通った経験のある、いどちゃんですが、操縦はやっぱり難しい模様。やっと走り出しても、すぐに馬が歩き出す始末……。

姿勢を保つのが難しい



意外と高いぞ! こわい~

初めての人は、乗るのもひと苦労

初体験のがんちゃんは、馬に乗るのもひと苦労。馬の上では自然と足に力が入ってしまい、力を抜くことすら難しい……。



大丈夫ですよ~

馬に乗るのも難しいのに「馬術」のレベルは高い……

日頃から馬に乗っていないと上達しないのね。



普段使っていない筋肉が悲鳴を上げました。「馬術」の技術の高さは想像もつかない!

やってみた!



いどちゃん

馬は生き物。人と同じでコミュニケーションが重要なんです……勉強になります!



がんちゃん

歩くだけでかなりの振動が。障害物を飛んだら……考えるだけでこわい!

▼▼▼ 実際の馬術はこんなにすごい! ▼▼▼

オリンピック

障害物を飛び越える「障害飛越」、演技の美しさを競う「馬場馬術」、それら2種目にクロスカントリーを加えた「総合馬術」という3つの競技があります。



障害物のデザインが「ロンドンバス」(右)と「ビッグ・ベン」(上)。このように過去大会では開催都市にちなんだデザインが使われている。東京2020大会ではどんなデザインに?



ロンドン2012大会

ココが見どころ!

障害飛越

主催者によって決められる、障害物のデザインにも注目。

馬場馬術

演技に並行して、リアルタイムで表示される点数に注目。

総合馬術

池や障害物、坂などが点在するコースを疾走するクロスカントリー走行は迫力満点!

パラリンピック

競技には定められた演技を行う規定演技と、選手自身が選んだ楽曲に合わせて演技を行う自由演技があります。また、障がいの種類や程度によって、5つのグレードに分類されます。



リオ2016大会

こちらの選手は足を保定するために補助具をつけているのがわかる。

ココが見どころ!

- 障がいの種類に応じた特殊馬具に注目。
- 選手の障がいを感ぜさせないダイナミックな馬の動きに注目。

新たに改装される競技会場に注目! //

東京1964大会の競技会場だった馬事公苑は、現在改装中。新しくなった競技会場にも大注目です。

公益社団法人日本馬術連盟
<https://www.equitation-japan.com/>

豆知識…人間と同じように馬にもドーピング検査があります。さらに一頭一頭パスポートまで!

大会運営を“縁の下で支える” メンバーを紹介します!

様々な出向元から組織委員会に集まったその道のプロフェッショナルを、
メンバー直筆による大会への熱いメッセージと共に紹介します!



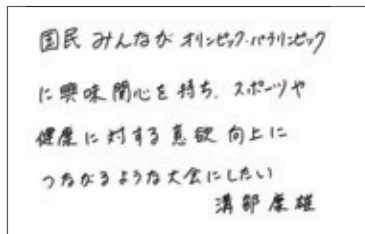
LGL(法務)担当
出向元/その他(業務委託)
五十嵐さん

- 趣味** スキー、バスケ、カメラ
- 業務** 契約関係、ブランド保護、組織関係、コンプライアンス、その他法律に関連することなら何でも



総務担当
出向元/国(文部科学省)
溝部さん

- 趣味** スキー、毎週末40kmのジョギング(現在、首の痛みにより休止中)
- 業務** 組織委員会の庶務業務、オフィスの整備



なるほど 組織委員会

4

東京2020組織委員会はFA(ファンクショナル・エリア)という機能別のチームに分かれて東京2020大会に向け運営準備をしています。現在、組織委員会のFAは52チームに分かれています。

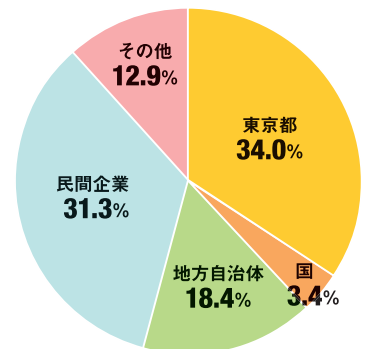
TOKYO 2020



組織委員会のメンバー構成

東京都や国、地方自治体、民間企業など多様な組織から出向した人が集まって、大会の準備・計画をしています。
2017年4月1日現在、組織委員会の職員は1,133名、2017年度末には約1,350名に増える予定です。

職員の構成



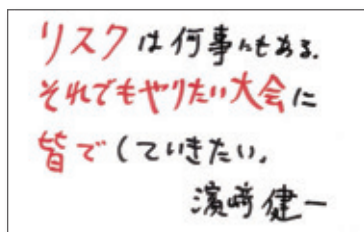
PRC(調達)担当
出向元/東京都
萩原さん

- 趣味** スキー、スーパー銭湯巡り。都内でも掛け流しを楽しめるところは結構あります(^^)
- 業務** 大会の運営に必要な施設、機器、備品、サービス等の調達



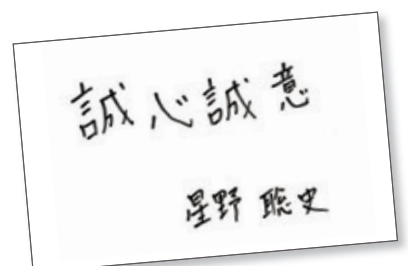
RSK(リスク)担当
出向元/民間企業
濱崎さん

- 趣味** スキー、息子と遊ぶこと、歩くこと、食べること、落語、歌舞伎など
- 業務** 大会開催に向けたリスクマネジメントの推進



PEM(人事)担当
出向元/地方自治体(青梅市)
星野さん

- 趣味** サッカー、音楽全般
- 業務** 制度設計、給与支払事務等



応募総数26,000点以上！国内外の小中学生が、 リオ2016大会・東京2020大会をテーマにポスターを描きました

東京2020組織委員会は、東京2020大会を身近に感じてもらうため、国内外の小中学生からポスターを募集しています。2回目となる今回は、「リオ2016大会で心に残ったこと」または「東京2020大会に期待すること」をテーマに、2016年7月25日(月)～11月30日(水)の期間で募集し、前年度の倍以上となる約26,000点の応募をいただきました。その中から、特に作者の想いが伝わり、元気や勇気を与えてくれる作品に金・銀・銅・入賞を授与しました。2017年3月31日(金)には、金賞の児童・生徒に対する表彰式を実施し、保護者、日枝メディア委員会委員長、室伏スポーツ局長など組織委員会職員、メディアの見守るなか、森会長、オリンピックの金藤選手、パラリンピックの藤澤選手から表彰状と副賞が手渡されました。

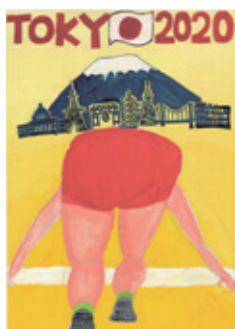
応募作品のうち各学校の代表作品は、組織委員会公式サイトにて2017年4月に公開予定です。本事業は2017年度以降も実施する見込みです。引き続き皆様のご応募をお待ちしております。



詳細はこちら！ [東京2020オリンピック・パラリンピックに向けたポスター企画](https://tokyo2020.jp/jp/get-involved/event/poster2016/)
<https://tokyo2020.jp/jp/get-involved/event/poster2016/>
 ※2017年4月末公開予定

金賞受賞作品

小学校



神奈川県
横浜市立日吉南小学校 5年
千葉 風羽(ちば ふう)さん

特別支援学校小学部



千葉県
千葉県立東金特別支援学校小学部3年
北田 凌大(きただ りょうた)さん

特別支援学校小学部



福岡県
福岡県立築城特別支援学校小学部5年
吉田 空眺(よしだ そら)さん

中学校



茨城県
笠間市立笠間中学校 2年
武内 あいの(たけうち あいの)さん

特別支援学校中学部



広島県
広島県立広島特別支援学校中学部2年
内藤 高暉(ないとう こうき)さん

※学年は受賞当時のものです。

テーマ
スポーツ・
健康

東京2020 参画プログラム紹介③

伊豆市げんきプロジェクト事業「伊豆ベロドロームでウォーキング」

▶3月11日(土)伊豆ベロドローム

東京2020大会自転車競技(トラック・レース)の会場の伊豆ベロドロームで、日ごろ歩くことのできない走路でのウォーキングを通して、体を動かすことへのきっかけをつくり、健康づくりを促していくとともに、東京2020大会と自転車競技への関心を高めることを目的としています。

当日は、家族連れでの参加も多く、最大傾斜45度の走路を見上げながらウォーキングを楽しんでいました。



写真提供：伊豆市

詳細はこちら！ <https://tokyo2020.jp/jp/get-involved/certification/>
 または、コールセンター 0570-00-6620 まで

▼プログラム実施にあたっての想い▼

東京2020大会自転車競技(トラック・レース/マウンテンバイク)の開催地である伊豆市は、かねてから自転車のまちとしてのPRやイベントを行ってきました。今回は、自転車競技に馴染みのない方にも、「歩く」ことを通じて、施設に親んでもらいたいと思い実施しました。今後も、参画プログラムを通じて、地域の皆さんにオリンピック・パラリンピックと自転車競技を身近に感じてもらい、2020年に向けて伊豆全体で盛り上げていきます。

伊豆市役所 産業部 東京オリンピック・パラリンピック推進課 渡邊さん





ロンドン2012大会の地鳴りのような大歓声

リオ2016大会の最高潮に盛り上がる
陽気なスタジアム

パラリンピックの大勢の観客は
いつも僕にちからを与えてくれた

東京2020大会
その日、僕は何を思うだろう

今はただ、その日のために強くなる。



樋口 政幸 (ひぐち まさゆき)
1979年生まれ。24歳の時に交通
事故で脊椎損傷。ロンドン2012大
会、リオ2016大会に連続出場。リ
オでは3種目に出場し、5,000メー
トルで4位。

東京2020
パラリンピックを × **ファインダー越しに見た**
満員 にしたいんだ × **スポーツの祭典**
委員会 Vol.3



竹見 脩吾 (たけみ しゅうご)
東京2020組織委員会フォトグラ
ファー/1985年東京生まれ。日本
大学芸術学部写真学科卒。カナ
ダ現地新聞社勤務を経て、スポー
ツフォトグラファーとして活動中。

本取材後に開催されたUAEシャルジャ国際陸上で、樋口選手は男子1,500メートルをアジア新記録で優勝されました。おめでとうございます!

Photo by Tokyo 2020 / Shugo Takemi

The Worldwide Olympic Partners



Tokyo 2020 Gold Partners



Tokyo 2020 Official Partners

